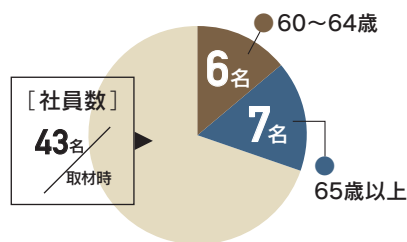


有限会社 グリーンケアステーション

所在地	久留米市大善寺町宮本342-23
業種・事業内容	介護・福祉、民間救急
設立年	平成14年
シニア人材の雇用制度	定年65歳、70歳まで継続雇用

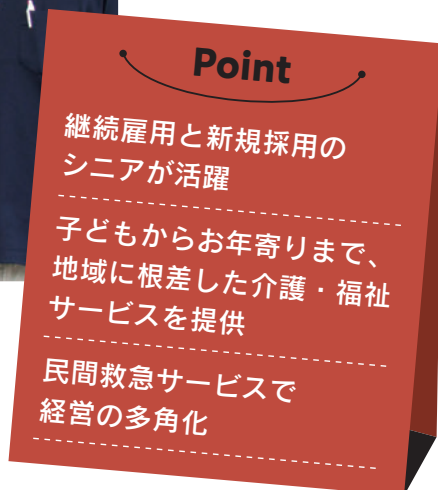


【最高齢者 81歳】



TOP Interview

有限会社グリーンケアステーション
人事部長の田中孝一氏にお話を伺いました。



企業の沿革、特徴、理念

御社の沿革をお聞かせください。

平成14年に訪問介護事業所を立ち上げたのが始まりです。開業当初は、社長とヘルパー2、3名の小さな事業所でした。地域に様々な介護サービスを必要としている人がいることがわかりましたので、デイサービス（通所介護）、サービス付き高齢者向け住宅、訪問看護と、

提供するサービスの種類を増やし、徐々に規模を拡大してきました。サービス付き高齢者向け住宅は、入居を待ってられる方が多いため、来年、近隣にもう1棟開設する準備を進めているところです。

高齢者向けサービスの他に、放課後デイ^(※1)、障がい者デイサービス、民間救急サービスも行っています。

会社理念として「地域の介護福祉ニーズに応え、地域社会へ貢献する」と掲げていますので、理念に則した事

(※1) 放課後デイ … 放課後等デイサービス。学校に通う障がい児が、放課後や休校日に、生活能力向上のために必要な訓練等を受けることができるサービス。



業展開に努めてきました。

介護などの悩み事があれば気軽に相談に来てもらえるような地域に開かれた施設を目指していますので、新型コロナウイルスが蔓延する前は、施設で行うイベントに地域住民の方にも来ていただいていたいました。一日も早い収束を望むばかりです。

高齢者、障がい者、子どもが同じ施設内でサービスを受けているところが珍しいですね。

介護保険サービスとそれ以外の福祉サービスを一緒に行うことは、難しいように思われるかもしれませんが、利用者にメリットがあります。お年寄りにとっては、いろいろな世代と共に過ごすことによる刺激が脳の活性化に繋がりますし、子どもの存在が癒しになり、自然と笑顔が生まれます。

サービスを一緒に提供することで、思いがけない関係が生まれることもあります。デイサービスでは、テーブルレクリエーションゲームの一つとして、健康麻雀^(※2)を取り入れています。垣根なく行っていますので、高齢者と若い障がい者が一緒にテーブルを囲んでいます。



ゲームを通して仲が深まり、意外な組み合わせの人達の間で会話がはずんでいる様子を見るのは嬉しいものです。

民間救急サービスとはどのようなサービスですか。

緊急性が低い方の入退院や通院、転院時の移送などを行うサービスで、所轄消防局の指定を受けています。移送に使用する車には、酸素吸入など医療処置ができる機材を搭載し、処置にあたる看護師なども乗務しています。

地域の医療関係者から、民間救急のニーズが高いことを聞き、会社として取り組むことを決めました。サービ

(※2) 健康麻雀… 飲酒や喫煙などを伴わない純粋にゲームとして楽しむ麻雀。脳の活性化やコミュニケーションの円滑化に効果があると言われる。

スの提供を始めてから10年ほどになりますが、当初は月10～20件だった出動件数が現在は100件前後まで伸び、経営的にも安定しました。全国的な民間救急ネットワークに加入して、県境を超える広域的な搬送にも対応しています。



シニア人材の雇用 (継続雇用制度・新規雇用)

シニア人材の雇用について、お聞かせ願います。

以前の就業規則は定年60歳としていましたが、昔と違って今の60歳は若くて元気ですので、就業規則を改定し、定年65歳、継続雇用70歳までとしました。

実態としては、働く意欲があって健康状態に問題がなければ、70歳以上でも雇用しています。最高齢の従業員は、81歳になる開業時からのスタッフで、訪問介護事業所でヘルパーとして勤務しています。

70歳を超えたシニアの新規雇用も珍しくありません。ハローワークに求人を出す場合も年齢不問としています。仕事探しをしているシニアの方から、「年齢不問とあるので応募したいが本当ですか」と問合せをいただくことも度々ありますので、本当に元気なシニアが大勢いるのだと感じます。

業務体制

シニアの業務内容についてお聞かせください。

継続雇用の場合は、定年前と同じ職種で勤務してもら

います。年齢で職務内容を制限することはありませんが、年を重ねると体力的に厳しくなることもありますので、正規職員からパートタイムに変更することもあります。原則として、勤務日数や時間は、本人の希望に沿うようにしています。年齢で一括りにするのではなく、それぞれの健康状態や職務能力を、定期的なヒアリングなどで見極めて、人員配置を行うようにしています。

シニア従業員が体調不良で休みを申し出ることは、多くありません。自己管理がしっかりしていて、仕事に対する責任感が大きいからだと思いますが、そういった姿勢が若い世代の模範になっていると思います。

研修はどのように行っていますか。

いずれの事業所でも実施されていると思いますが、基本的にOJTで行っています。

我が社独自の取組みとしてご紹介できることとして、月1回の従業員全員が集まる全体ミーティングの中で、従業員が交代で講師を務めるミニ研修会をしています。最近では、介護職員が講師を務めた回で「正しい移乗介助について」、看護師の回では「救命措置について」をテーマに開催しました。介護、看護を担当していない者も受講しますので、会社が提供しているサービスに対する理解が深まる機会になっていると思います。

会計担当者が講師を務めた回では、前職が銀行員ということもあって、「金融資産について」をテーマにしました。直接仕事とは関係がない内容ですが、皆興味を持って聞いてくれたようで好評でした。マネープランは生活に深く関わる大切な問題なので、今後もこのようなテーマのミニ研修会を続けていくつもりです。

今後の展望

最後に生涯現役社会、人生100年時代についてのお考えをお聞かせください。

我が国は世界一の長寿国と言われていますが、長寿と併せて健康寿命を伸ばすことが大切だと感じています。我が社で働いているシニア従業員を見ると、年を重ねても活躍できる場があることが、健康の維持と大きく関係していると思います。

介護事業所として、元気なシニアには仕事の場を、介護が必要な方には日常のお世話を提供していますので、生涯現役社会、人生100年時代における我々の役割は大

きと感じています。これからも、「地域の介護福祉ニーズに応え、地域社会へ貢献」していきたいです。

STAFF Interview

いしばしたかこ
石橋 貴子さん
67歳/取材当時



働いていないと時間を持て余してしまうので、これまでの経験が活かして今の体力に見合った仕事はないかと探していたところ、生涯現役チャレンジセンターからの紹介で、1年ほど前に就職することができました。デイサービスの調理を担当しています。至らない点が多いと思いますが、職員の皆さん優しく接して下さいます。可能であればずっと働きたいです。

あらきともこ
荒木 智子さん
76歳/取材当時



家で過ごすより外で働きたいと思っていたところ、生涯現役チャレンジセンターからの紹介で、デイサービスの調理担当として半年前に採用されました。70歳を超えていましたので、就職先があるのか心配でしたが、良いところを紹介してもらい感謝しています。工作中は、多くの利用者や同僚と接しますので、頭の回転がよくなる気がしますし、規則正しい生活が健康維持に効果があると思います。これからも健康に気を付けて、働きたいです。

COMMENT

お二人とも仕事での「気づき」が多いと思います。指示されたことだけをするのではなく、利用者の皆さんの食事の摂り方にも気を配ってくれ、刻み食の大きさを変更してはどうかと提案もしてくれます。配膳時に利用者とお話するなど、良い雰囲気づくりへの貢献も大きいです。私は管理者という立場ではありますが、素敵な同僚で人生の先輩だと感じています。

デイサービス管理者

おいかわまなみ

及川 真奈美さん

からのコメント

取材を終えて

田中人事部長をはじめスタッフの皆さんの朗らかで明るい雰囲気が印象的でした。コロナ禍の中でも工夫して、利用者の皆さんが飽きないアクティビティを考えるなど、利用者第一主義を心がけていらっしゃいました。